

IPMATE FT3000R-AP の 新機能について

2001年6月

※このドキュメントでは、新機能についての操作説明を記述しています。

《ご注意ください》

IPMATE FT3000Rのその他の設定に関しましては、本製品に添付の取扱説明書をあわせてご確認ください。

■追加された機能について

1. INSメッセージ到着お知らせサービスに対応

INSネット64（INSネット64・ライトを含む）の付加サービスで、Lモード対応アナログ電話機をご利用のお客様宛てのメッセージがセンタに到着していることをランプでお知らせします。



2. i・ナンバー3番号に対応

INSネット64（INSネット64・ライトを含む）の付加サービスで、1回線につき「2番号」または「3番号」を持つことができるサービスです。

■新機能ご利用いただくには

NTTのホームページよりIPMATE FT3000R：Lモード対応ファームウェア（Ver.1.03）への更新を行なってください。

ファームウェアの更新後、本ドキュメントの説明に従って、それぞれの追加機能の設定を行なってください。

《ご注意ください》

INSネット64（INSネット64・ライトを含む）の付加サービスをご利用いただくには、別途、NTTとの契約が必要です。

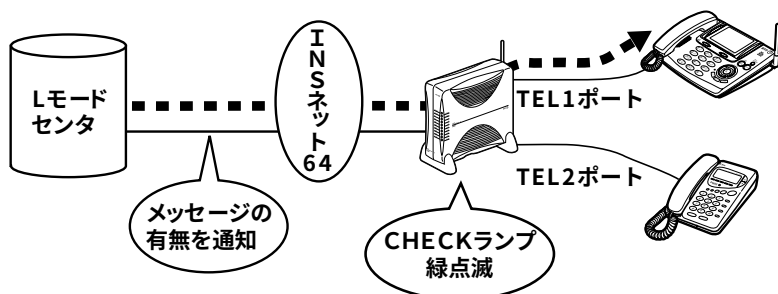
新機能をお使いいただくには、IPMATE FT3000R-APのファームウェアを更新し、機能の設定が必要です。

お手元に、IPMATE FT3000R-APの取扱説明書をご用意ください。

Lモード

INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには

IPMATE FT3000R-APは、Lモード対応アナログ電話機を接続してLモードをご利用になります。Lメールがセンタに届いたときに、Lモード対応アナログ電話機のディスプレイにメッセージがあることを表示させたり、IPMATE FT3000R-APのCHECKランプでお知らせすることができます。



■INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するには

●必要な契約

Lモードなどの、INSメッセージ到着お知らせサービスを利用するサービスの契約（有料）が必要です。

●必要な設定

「メッセージあり状態表示（Lモード関連）」または「メッセージあり情報通知（Lモード関連）」の設定が必要です。

Lモード対応アナログ電話機など、INSメッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

《ご注意ください》

IPMATE FT3000R-APのアナログポートにLモード対応アナログ電話機を接続してLモードのサービスをご利用になる場合は、発信者番号を通知する設定を行ってください。（取扱説明書P.159、P.116、P.118参照）

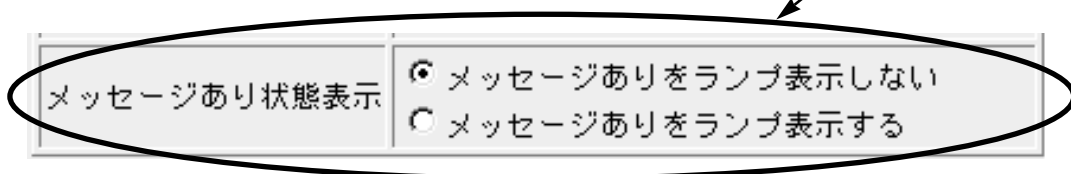
■メッセージあり状態表示機能とは

Lメールがセンタに届いたときに、FT3000R-APのCHECKランプを点滅させます。

■メッセージあり状態表示機能を設定するには

詳細設定メニューからアナログポート1／2情報画面：[装置の動作に関連する設定項目]メッセージあり状態表示機能を設定します。(取扱説明書P.118参照)

追加項目



アナログポート1／2それぞれについて、「メッセージあり状態表示」する／しないのいずれかを選択します。

「メッセージありをランプ表示しない」 (初期値)

「メッセージありをランプ表示する」

「メッセージありをランプ表示する」を選択すると、センタに、いずれかのポートに接続された端末宛てのメッセージが届いた場合、IPMATE FT3000R-APのCHECKランプが緑点滅します。

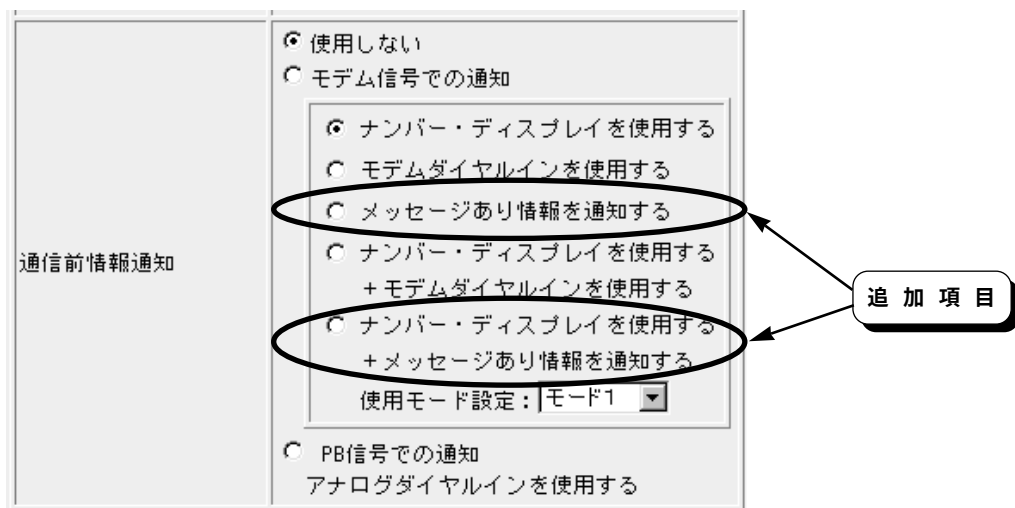
センタにメッセージなしの状態の場合にはCHECKランプが消灯します。

■メッセージあり情報通知機能とは

Lメールがセンタに届いたときに、アナログポートに接続されたLモード対応アナログ電話機のディスプレイにメッセージを表示させます。

■メッセージあり情報通知機能を利用するには

詳細設定メニューからアナログポート1／2情報画面：「装置の動作に関連する設定項目」通信前情報通知を設定します。（取扱説明書P.118参照）

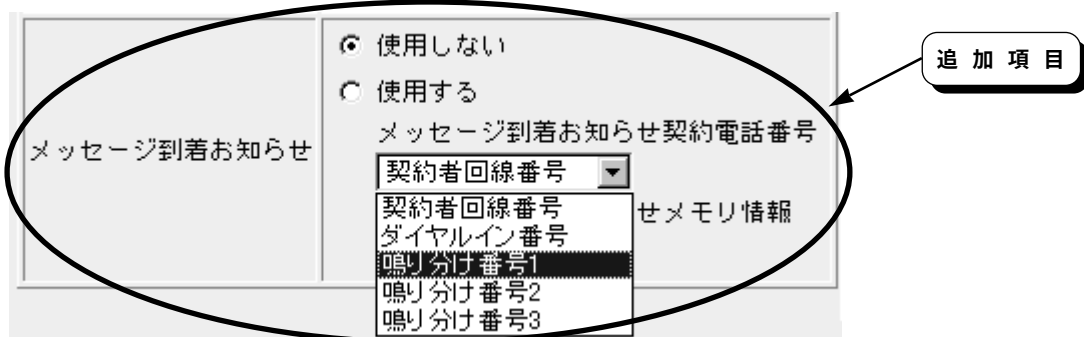


アナログポート1／2それぞれについて、「通信前情報通知」として、モデム信号での通知を使用する／しないのいずれかを選択します。（初期値：「使用しない」）

Lモード対応通信機器に対するメッセージあり情報を通知するには、
「モデム信号での通知」を選択し、かつ
「メッセージあり情報を通知する」または、
「ナンバー・ディスプレイを使用する+メッセージあり情報を通知する」
を選択してください。

■ メッセージあり情報通知ポートを特定するには

詳細設定メニューからアナログポート1／2情報画面：[網契約に関連する設定項目] メッセージ到着お知らせを設定します。

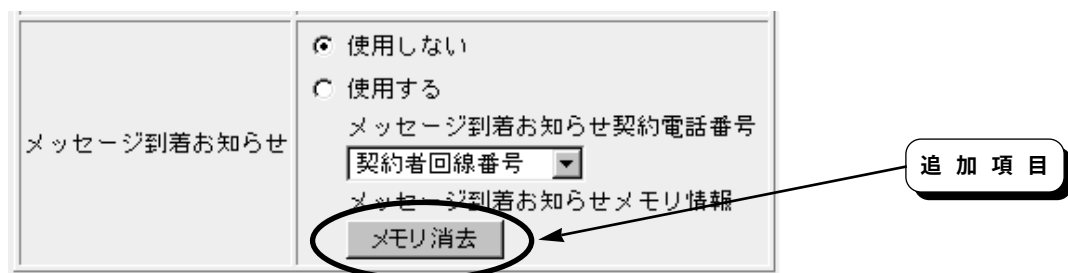


アナログポート1／2それぞれについて、「メッセージ到着お知らせサービス」を使用する／しないを選択します。（初期値：「使用しない」）

「使用する」を選択した場合、契約した電話番号を選択することによりメッセージ到着お知らせ情報通知先を特定することができます。

■ メッセージあり情報を削除するには

詳細設定メニューからアナログポート1／2情報画面：[網契約に関連する設定項目] 「メッセージ到着お知らせ」の「メモリ消去」ボタンで消去することができます。



IPMATE FT3000R-APは情報表示設定の有無に係わらず、契約された情報通知サービスについて情報を蓄積することが出来ます。

メモリ消去ボタンをクリックすると、センタ情報（全センタの登録状況と蓄積情報）を設定したアナログポート1／2ごとに消去することができます。

IPMATE FT3000R-AP のi・ナンバー 3番号対応について

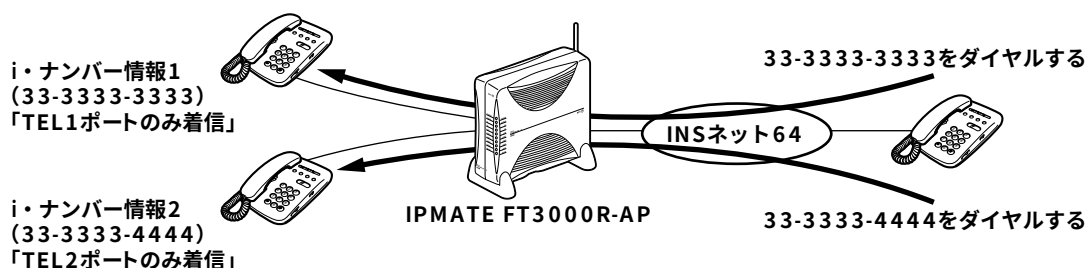
■ i・ナンバーとは

INSネット64 (INSネット64・ライトを含む)の付加サービスで、1回線につき、「2番号」または「3番号」を持つことができるサービスです。

これまでの1回線に1つの追加番号サービス「i・ナンバー（2番号）」に加えて、2000年7月より、1回線に2つの追加番号サービス「i・ナンバー（3番号）」が開始されました。

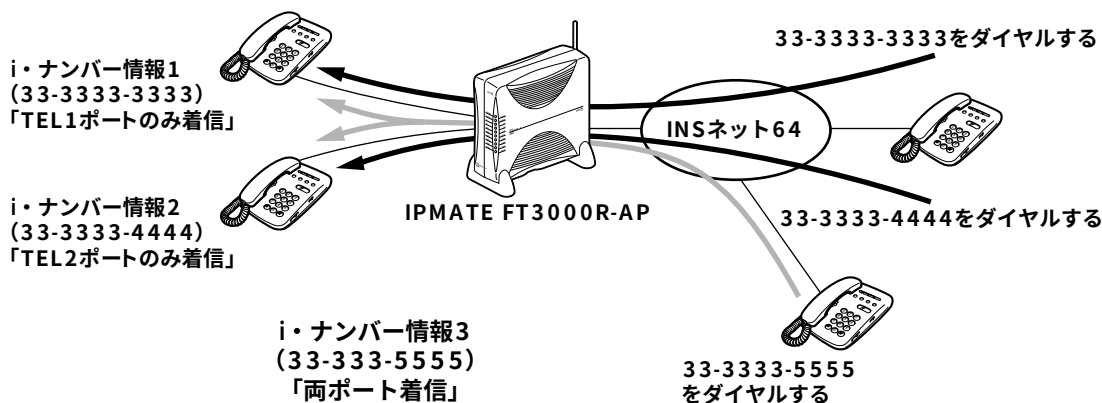
● これまでは・・・

（i・ナンバー（2番号）の場合）



● これからは

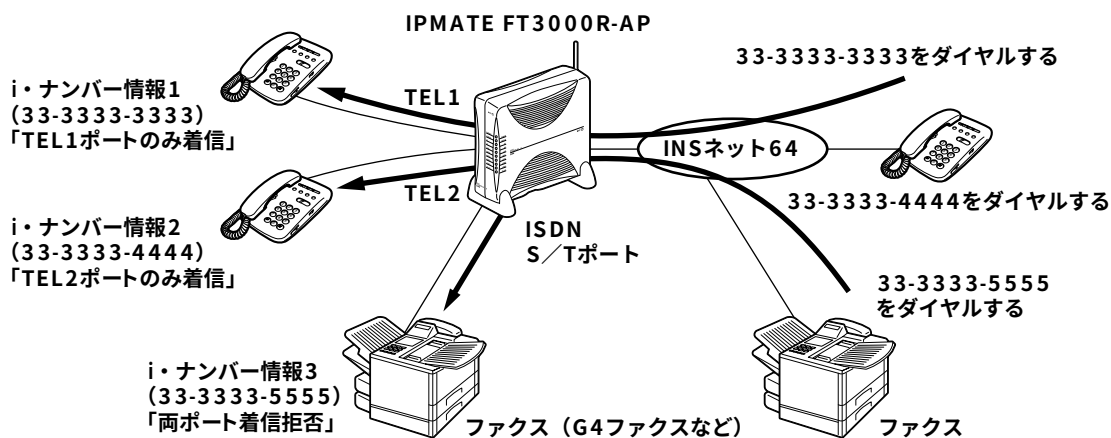
（i・ナンバー（3番号）の場合）



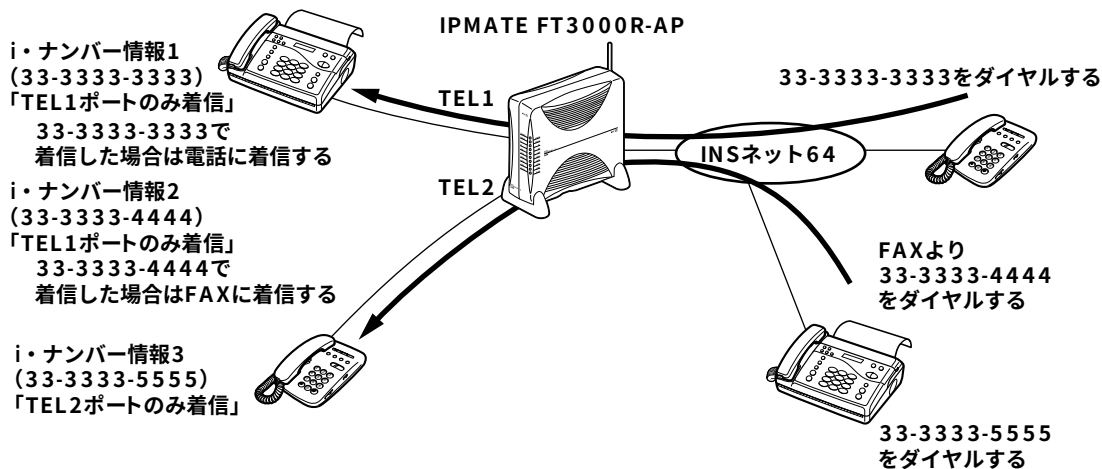
注：i・ナンバー3番号をご利用になるには別途契約が必要です。

i・ナンバー（3番号）の利用例

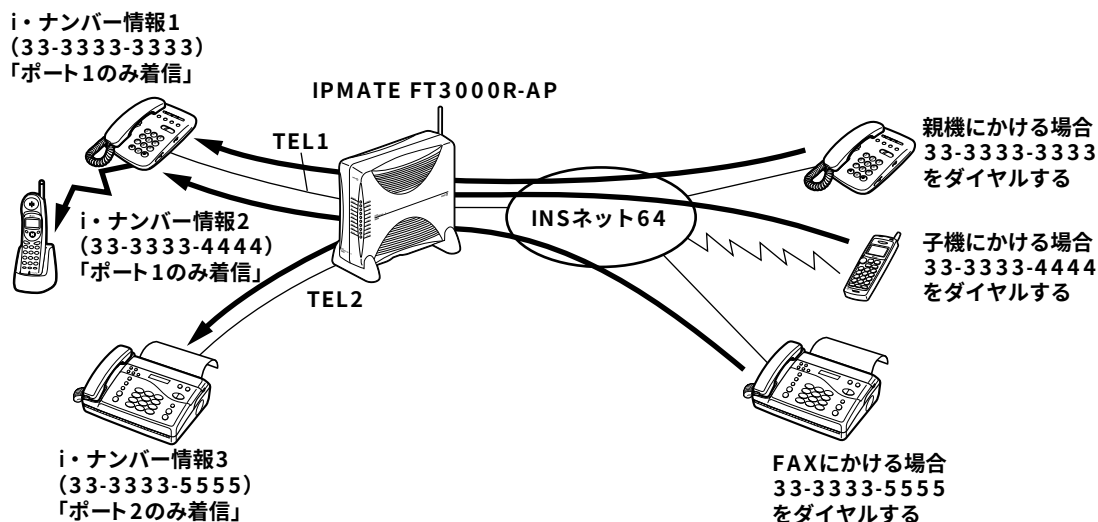
■ファクス（G4ファクスなど）を利用する



■モデムダイヤルイン機能を利用する



■モデムダイヤルイン対応親子電話を利用する



■IPMATE FT3000R-APでは、以下の新機能をご提供するためにファームウェアを更新いたしました。

《ご注意ください》

i・ナンバー（2番号）、（3番号）をご利用いただくには、別途利用契約（有料）が必要です。

新機能をお使いいただくには、ファームウェアを更新したIPMATE FT3000R-APに設定が必要です。

お手元に、IPMATE FT3000R-APの取扱説明書をご用意ください。

■「アナログ共通情報」画面の変更（取扱説明書 P.116参照）

[i・ナンバーごとに擬似着信転送を設定する場合]

着信転送

契約者番号の転送先	
ポート1のダイヤルインの転送先	
ポート2のダイヤルインの転送先	
鳴り分け番号1の転送先	
鳴り分け番号2の転送先	
鳴り分け番号3の転送先	

※グローバル着信ありの場合の転送先は契約者番号の転送先に設定してください

追加項目

[i・ナンバーを「使用する」場合]

i・ナンバー

使用する

[i・ナンバー情報1]

鳴り分け番号1

動作モード

[i・ナンバー情報2]

鳴り分け番号2

動作モード

[i・ナンバー情報3]

鳴り分け番号3

動作モード

追加項目

・鳴り分け番号1/2/3

鳴り分け番号1/2/3を市外局番から半角数字（最大32桁）で入力します。

（区切り文字として「-」、「()」、「」が使えます。）

・動作モード

i・ナンバー情報1/2/3で着信があったとき、着信するポートを選択したり、着信拒否することができます。

ポート1 のみ着信：TEL1 ポートのみ着信

(i・ナンバー情報1 初期値)

ポート2 のみ着信：TEL2 ポートのみ着信

(i・ナンバー情報2 初期値)

両ポート着信：TEL1、2 ポートともに着信

(i・ナンバー情報3 初期値)

着信拒否：TEL1、2 ポートともに着信しない

■アナログポート1／2情報の変更（取扱説明書 P.118参照）

[i・ナンバーの鳴り分け番号から発信者番号を選択する場合]

発信者番号通知	i・ナンバー設定が「使用しない」の場合	追加項目
	☐ 通知する ☐ 通知しない ☒ INSネット64申込内容に従う	
	i・ナンバー設定が「使用する」の場合	
	☒ 鳴り分け番号1 ☐ 鳴り分け番号2 ☐ 鳴り分け番号3	

・鳴り分け番号1/2/3

i・ナンバー設定が「使用する」の場合にアナログポートからの発信時に発信者として通知する「鳴り分け番号1/2/3」のいずれかを指定します。

■回線情報の変更（取扱説明書 P.78 参照）

[自局番号チェックをする場合]

自局番号チェック	☐ しない ☒ する	追加項目
	チェックする番号1 電話番号を指定 i・ナンバー情報1 i・ナンバー情報2 ☒ i・ナンバー情報3	
	チェックする番号2 電話番号を指定 i・ナンバー情報1 i・ナンバー情報2 ☒ i・ナンバー情報3	
	グローバル着信 ☒ 利用する ☐ 利用しない	

注：「チェックする番号2」も同様です。

・着信を許可する番号1/2

着信を許可する番号として「電話番号を指定」「i・ナンバー情報1」「i・ナンバー情報2」「i・ナンバー情報3」のいずれかを選択します。

電話番号を指定：電話番号を市外局番から半角数字（最大32桁）で入力します。
（区切り文字として「-」、「（）」、「」」が使えます。）

i・ナンバー情報（1/2/3）：i・ナンバー情報1 または i・ナンバー情報2 または i・ナンバー情報3 での着信を許可します。
電話番号を入力しても無効です。

サブアドレス：自局番号チェックを行うサブアドレスが設定できます。
半角英数字（最大19桁）で入力します。
電話番号を指定する場合、i・ナンバー情報1/2/3を選択した場合のいずれも有効になります。

グローバル着信：グローバル着信を利用するかしないかを選択します。